



平成 30 年 7 月 26 日

原爆の日に関連した広島大学主催行事について

73 回目の原爆の日を迎えるにあたり、広島大学の関連行事をご案内します。

8 月 2 日に広島大学平和センターの記念国際シンポジウムを開催します。「ヒロシマの平和、そして世界の平和—過去・現在・未来への展望」と題して、今日（こんにち）の「ヒロシマ」が平和構築をはじめ世界の平和に果たしうる役割について議論します。

8 月 3 日から 9 月 20 日まで資料展示会を開催します。原爆投下直後から被災者の治療や原因究明に尽力し、広島大学医学部病理学教室の初代教授であった玉川忠太氏の資料を中心に当時の医師たちの取り組みを紹介します。

8 月 6 日には、広島大学原爆死没者追悼式を開催します。広島大学に包括された旧制諸学校の教職員、学生、生徒および児童で、在職中または在学中に原子爆弾に被爆され、その後亡くなられた方々の霊を慰めるために執り行うものです。

今回は新たに 29 人を書き加え 1981 人となった原爆死没者名簿を奉納します。

また、死没者追悼式の後に、広島大学平和企画を実します。平和企画では、被爆者が持つ平和を希求する思いを継承していくため、被爆者や本学学生たちが書いた手紙や絵をタイムカプセルに入れて地中に埋めるタイムカプセル記念式。その手紙を書いた学生と留学生との意見交換会。核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN：アイキャン）国際運営委員の川崎 哲（かわさき あきら）氏による核兵器禁止条約の意義についての講演会を実施します。

【お問い合わせ先】

財務・総務室広報部広報グループ

TEL：082-424-3749 FAX：082-424-6040